

JAPAN



EDICT OF GOVERNMENT



In order to promote public education and public safety, equal justice for all, a better informed citizenry, the rule of law, world trade and world peace, this legal document is hereby made available on a noncommercial basis, as it is the right of all humans to know and speak the laws that govern them.

JIS B 6608 (1983) (Japanese): Safety standards
for construction of veneer lathes

安

*The citizens of a nation must
honor the laws of the land.*

Fukuzawa Yukichi

併

BLANK PAGE



JIS

ベニヤレースの構造の安全基準

JIS B 6608-1983

(2008 確認)

昭和 58 年 8 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

工作機械部会 木工機械専門委員会 構成表

	氏 名	所 属
(委員長)	林 大九郎	東京農業大学農学部
	杉 原 彦 一	京都大学農学部
	福 井 尚	名古屋大学農学部
	熊 野 英 昭	通商産業省機械情報産業局
	小 俣 和 夫	労働省労働基準局
	岡 本 純 三	千葉大学工学部
	鈴 木 寧	農林水産省林業試験場
	木 下 直 治	職業訓練大学院
	小 柳 武 昭	工業技術院標準部
	谷 尻 正 三	株式会社中国機械製作所
	上 杉 正	株式会社ウロコ製作所
	福 田 良 平	株式会社菊川鉄工所
	谷 野 八 郎	庄田鉄工株式会社
	内 藤 義 雄	株式会社大平製作所
	村 上 勝	社団法人全国木工機械工業会
	佐 藤 正 徳	株式会社佐藤製材所
	井 上 哲 男	東和木材株式会社
	児 玉 実	木材加工技術コンサルタント
	河 野 勝 彦	社団法人全国家具工業連合会
	桜 井 昭	開成産業株式会社
(事務局)	望 月 善 治	野田合板株式会社資材部
	池 谷 一 好	日本楽器製造株式会社天龍工場
	公 平 秀 蔵	社団法人全国木材組合連合会
	桜 井 俊 彦	工業技術院標準部機械規格課
	岡 島 弘 二	工業技術院標準部機械規格課

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 58.8.1

確認：平成 10.9.20

官 報 公 示：平成 10.9.21

原案作成協力者：社団法人 全国木工機械工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 工作機械部会（部会長 本田 巨範）

審議専門委員会：木工機械専門委員会（委員長 林 大九郎）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

ベニヤレースの構造の安全基準

B 6608-1983

(1998 確認)

Safety Standards for Construction of Veneer Lathes

1. 適用範囲 この規格は、ベニヤレース⁽¹⁾(レースチャージャを含む。)の安全構造、取扱説明書、検査票及び表示について規定する。

注 ⁽¹⁾ JIS B 0114(木材加工機械の名称に関する用語)を参照。

2. 用語の意味 この規格で用いる主な用語の意味は、次による。

- (1) 原木搬入装置 レースチャージャにおいて、原木を前処理工程部門から原木心出し装置まで搬入する機構。
- (2) 原木心出し装置 レースチャージャにおいて、原木をベニヤレースに供給する際、最も有効に利用するため原木の回転中心を決める機構。
- (3) 原木供給装置 レースチャージャにおいて、原木を確実に把持して、ベニヤレースに供給する機構。
- (4) クッションスタート 原木供給装置を作動する際、次第に加速させ設定速度にする方法。ソフトスタートともいう。
- (5) クッションストップ 原木供給装置を停止する際、次第に減速させて停止する方法。ソフトストップともいう。
- (6) 原木切削装置 ベニヤレースにおいて、原木を確実に把持し切削する機構であって、次のものからなる。
 - (a) かな台 原木を切削するためのナイフ、ノーズバーなどを取り付ける台。
 - (b) スピンドル 原木を把持して切削するとき、回転中心となる軸。
 - (c) ベンディング防止装置 原木切削時、その径が次第に細くなり、刃物とスピンドルに押されて生じる曲がりを防止する装置。
- (7) インターロック 機械・装置を安全、かつ、効率的に作動させるため、各装置間の動きを規制する機構。

3. 安全構造

3.1 原木搬入装置 原木搬入装置は、次による。

- (1) 搬送コンベヤは、原木を安全、かつ、確実に搬送することができるものであること。
- (2) 心出し部への搬入コンベヤは、作業者がその操作スイッチから手を離すことによって、直ちに停止する構造のものであること。

3.2 原木心出し装置 原木を受け止める Vブロックから原木が容易に転落しない構造のものでなければならない。

3.3 原木供給装置 原木供給装置は、次による。

- (1) 原木把持中、シリンダ内の圧力低下を防止する機構を備えるなど、確実に原木を把持することができる構造のものであって、圧力が低下し始めた場合、これを知らせる警報装置を備えたものであること。
- (2) 原木供給の際、作動開始時又は停止時の反動による原木の落下を防止するため、クッションスタート及びクッションストップ機構をもつものであること。

引用規格：JIS B 0114 木材加工機械の名称に関する用語

関連規格：JIS B 6507 木材加工機械の安全通則

JIS B 6542 ベニヤレース

3.4 原木切削装置 原木切削装置は、次による。

- (1) 刃物の取付け及び取外しが確実、かつ、容易にできる構造のものであること。
- (2) 刃口の調節、清掃等が安全、かつ、容易にできる構造のものであること。

3.5 運転操作盤の設置位置 運転操作盤は、作業者がその前後工程を十分に見渡すことができる位置に設置されているものでなければならない。

3.6 電源遮断時及び再始動の危険防止 電源遮断時及び再始動の危険防止は、次による。

- (1) 動力が遮断された場合に、油圧による原木及び刃物の把持、かな台の刃口開閉等が動力遮断前の状態を維持するか、又は安全側に作動する構造のものであること。
- (2) 停電後、動力源が復元されても、自動的に再始動することを防止するための機構を備えているものであること。

3.7 インターロック インターロックは、次による。

- (1) 自動運転の場合の心出し用Vブロックは、原木横押しシリングの前進中又は後退中、及び原木供給装置が中間停止位置より心出し用Vブロック側にあるときは上昇しないものであること。
- (2) 心出し位置にある原木供給装置は、心出し用Vブロックが下降限にないとベニヤレース側に進まないものであること。
- (3) 原木供給装置は、ベニヤレースのスピンドルが後退限でベンディング防止装置が上昇限にないと前進の押しボタンを押し続けても中間停止位置で止まるものであること。
- (4) 中間停止位置にある原木供給装置は、ベニヤレースのスピンドルが後退限で、ベンディング防止装置が上昇限にないとベニヤレース側に進まないものであること。
- (5) 原木供給装置は、装置自体がベニヤレースのスピンドル中心位置にあり、スピンドルが前進し、かつ原木把持が完了していないと原木取外し押しボタンを押しても原木は取り外しできないものであること。
- (6) 原木供給装置は、原木把持具が安全な範囲にある時以外は、ベニヤレース側から心出し装置側に戻らないものであること。
- (7) ベニヤレースのかな台とスピンドルは、前進限及び後退限リミットスイッチを設けるなどし、両者が接触しない機構をもつものであること。
- (8) かな台の刃口開閉用手もとスイッチを操作中には、運転操作盤でスピンドルの回転、刃口の開閉及びかな台の前進又は後退の操作を行うことができない機構のものであること。

3.8 作業床 作業床は、次による。

- (1) 運転操作盤の作業床には、手すりなどが設けられていること。
- (2) 刃口の清掃及びけ(罫)引きナイフの調節を行うための作業床が設けられていること。
- (3) 作業床の床面には滑り止めが施されていること。

3.9 回転部分の覆い 歯車、プーリ、ベルトなどで運転中に接触によって巻き込むおそれのある部分には、覆いを設けなければならない。

4. 取扱説明書 ベニヤレースには、取扱説明書を添付し、形式・仕様・構造・工具・操作・保全・点検・整備・据付け・その他安全上の留意事項など、安全確保に必要な事項を記載する。

5. 検査票 ベニヤレースには、安全に関する検査票(検査項目とその結果)を添付する。

6. 表示 ベニヤレースには、見やすい箇所に容易に消えない方法で、次の事項を表示する。

- (1) 製造業者名
- (2) 製造年月及び製造番号
- (3) 形式

- (4) 取り付けることができる原木の最大長さ 及び 最大直径(レースチャージャ)
- (5) 刃物取付面の長さ 及び 振り(ベニヤレース)
- (6) スピンドルの直径
- (7) スピンドルの最高回転速度
- (8) その他 安全上, 特に必要な事項

★内容についてのお問合せは、技術部規格開発課へ **FAX**：03-3405-5541 でご連絡ください。

★ **JIS** 規格票の正誤票が発行された場合は、次の要領でご案内いたします。

(1) 当協会発行の月刊誌“標準化ジャーナル”に、正・誤の内容を掲載いたします。

(2) 毎月第3火曜日に、“日経産業新聞”及び“日刊工業新聞”の **JIS** 発行の広告欄で、正誤票が発行された **JIS** 規格番号及び規格の名称をお知らせいたします。

なお、当協会の **JIS** 予約者の方には、予約されている部門で正誤票が発行された場合には自動的にお送りいたします。

★ **JIS** 規格票のご注文及び正誤票をご希望の方は、普及事業部普及業務課 (**FAX**：03-3583-0462) 又は下記の当協会各支部へ **FAX** でお願いいたします。

JIS B 6608

ベニヤレースの構造の安全基準

昭和 58 年 9 月 30 日 第1刷発行

平成 13 年 6 月 5 日 第2刷発行 (宝文社)

編集兼
発行人 坂倉省吾

発行所

財団法人 日本規格協会

〒107-8440 東京都港区赤坂4丁目1-24

TEL 東京 (03) 3583-8071 (規格出版課)

FAX 東京 (03) 3582-3372

札幌支部	〒060-0003	札幌市中央区北3条西3丁目1 札幌大同生命ビル内 TEL 札幌 (011) 261-0045 FAX 札幌 (011) 221-4020 振替：02760-7-4351
東北支部	〒980-0014	仙台市青葉区本町3丁目5-22 宮城県管工事会館内 TEL 仙台 (022) 227-8336(代表) FAX 仙台 (022) 266-0905 振替：02200-4-8166
名古屋支部	〒460-0008	名古屋市中区栄2丁目6-1 白川ビル別館内 TEL 名古屋 (052) 221-8316(代表) FAX 名古屋 (052) 203-4806 振替：00800-2-23283
関西支部	〒541-0053	大阪市中央区本町3丁目4-10 本町野村ビル内 TEL 大阪 (06) 6261-8086(代表) FAX 大阪 (06) 6261-9114 振替：00910-2-2636
広島支部	〒730-0011	広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル内 TEL 広島 (082) 221-7023, 7035, 7036 FAX 広島 (082) 223-7568 振替：01340-9-9479
四国支部	〒760-0023	高松市寿町2丁目2-10 住友生命高松寿町ビル内 TEL 高松 (087) 821-7851 FAX 高松 (087) 821-3261 振替：01680-2-3359
福岡支部	〒812-0025	福岡市博多区店屋町1-31 東京生命福岡ビル内 TEL 福岡 (092) 282-9080 FAX 福岡 (092) 282-9118 振替：01790-5-21632

JAPANESE INDUSTRIAL STANDARD

Safety Standards for Construction of Veneer Lathes

JIS B 6608-1983

(Reaffirmed 1998)

Established 1983-08-01

Investigated by

Japanese Industrial Standards Committee

Published by

Japanese Standards Association

1-24, Akasaka 4-chome, Minato-ku

Tokyo, 107-8440 JAPAN

Printed in Japan

定価 367 円 (本体 350 円)